

名古屋市女性会館のあらまし

令和8年度版

名古屋市教育委員会

目 次

I	目 的	1
II	建設の経緯	1
	1 女性学習センター	1
	2 女性情報センター	2
III	施設のあらまし	2
	1 名称・位置	2
	2 建物の概要	2
	3 施設の案内	3
	4 開館時間と休館日	3
	5 部屋別一覧	4
IV	組織及び分掌事務	5
V	予 算	5
VI	令和 8 年度事業計画	6
	1 はじめに	6
	2 事業目標と具体的な事業	6
	(1) 「学習の場」の提供	6
	(2) 「交流の場」の提供	7
	(3) 「情報の場」の提供	8
	3 施設等の提供	8

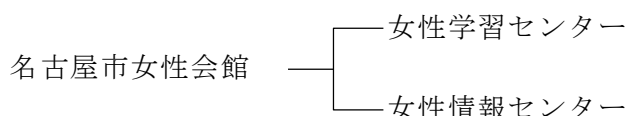
VII	令和7年度事業結果	9
1	主催事業のあらまし	9
	【具体的な事業展開】	10
1	「学習の場」提供事業	10
2	「交流の場」提供事業	12
3	「情報の場」提供事業	14
VIII	令和7年度利用状況	15
1	開館日数	15
2	利用人数	15

I 目 的

名古屋市女性会館は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図ることを目的として設けられた社会教育施設である。学習や交流をとおして、女性が問題を解決する力を高められるように、各種の事業を展開している。

また、平成3年に併設された女性情報センターは、女性の生涯にわたる学習要求に応える情報の提供や女性自らの情報の活用、発信を支援することを目的としている。

なお、女性情報センターの開館により、既設の婦人会館と新設の女性情報センターの総合名称を「女性会館」とし、婦人会館部分を女性学習センターとした。



さらに、市民に一層親しまれる施設となるよう、女性会館の愛称を公募により「イーブネット」とした。

「イーブネット… “イーブン＝平等” と “ネットワーク＝交流と連帯” の言葉を合わせたもの」

平成26年4月には男女平等参画推進センターが女性会館に移転し、女性教育と男女平等に係る事業及び運営を一体的に行っている。

また、両施設の共通愛称を公募により「イーブルなごや」とした。

「イーブル… “イーブン＝平等” と “エイブル＝可能” を組み合わせた言葉」

II 建設の経緯

1 女性学習センター（旧「婦人会館」）

1973（昭和48）年	12月19日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市会に請願（署名8万人）
1974（昭和49）年	2月 1日	請願、市会で採択
	8月30日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市長及び教育委員会へ陳情
	12月 3日	婦人グループ・サークルが市長及び教育委員会へ陳情
1975（昭和50）年	1月29日	婦人グループ・サークル共同で婦人会館建設を市会に請願
	1月	名古屋市短期3か年計画を策定（婦人会館建設を計画）
	4月 1日	婦人会館建設調査費を当初予算に計上（調査費30万円）
	10月13日	婦人団体・グループ代表を含む建設調査委員会設置
		第1回会合、基本構想について審議
	12月 1日	第2回会合、施設・事業内容について審議 他都市実情調査
1976（昭和51）年	2月24日	第3回会合、あるべき会館像の作成
	4月 1日	51年度予算に実施設計費を計上（1,000万円）
	7月 7日	第4回会合、女性の要望集約を決定
	7月～9月	計画案・事業案についての女性の要望、意見集約
	9月	現在地に構想固まる
		実施設計費を9月市会で補正
	12月	本体工事実施設計を完了
1977（昭和52）年	4月20日	工事着工
1978（昭和53）年	7月19日	開館

2 女性情報センター

1985（昭和60）年10月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホールの建設をすすめる会」 発足（4団体・69グループ参加）
12月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホール建設に関する陳情書」を 市長、教育委員会及び市会へ提出（署名59,000人）
1986（昭和61）年 8月	婦人団体代表、学識経験者を委員とする「女性教育情報センター建設 調査委員会」を設置
1987（昭和62）年 2月	すすめる会より女性教育情報センターの施設構想について要望書提出
1988（昭和63）年 3月	「女性教育情報センター基本構想」策定
1989（平成元）年 3月	女性教育情報センター基本設計完了、情報システム調査実施
9月	実施設計完了
12月	建設着工
1990（平成 2）年12月	建設完了
12月	情報システム設計完了、運用準備
1991（平成 3）年 5月24日	開館

Ⅲ 施設のあらまし

1 名称・位置

- （1）名称 名古屋市女性会館（共通愛称「イーブルなごや」）
（2）位置 名古屋市中区大井町7番25号

2 建物の概要

	女性学習センター	女性情報センター	合 計
敷地面積	2,211.08㎡	1,169.26㎡	3,380.34㎡
延床面積	3,434.18㎡	2,392.49㎡	5,826.67㎡
建築面積	1,043.39㎡	791.12㎡	1,834.51㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建一部4階建	立体駐車場 484.08㎡
着 工	昭和52年4月20日	平成元年12月	
竣 工	昭和53年7月15日	平成2年12月	
開 館	昭和53年7月19日	平成3年5月24日	
総 工 費	608,962,000円 うち国庫補助 60,000,000円 県費補助 60,000,000円	1,022,000,000円 うち国庫補助 83,000,000円 県費補助 71,400,000円	

3 施設の案内

区 分	女性学習センター	女性情報センター
4 階		同時通訳室（親子ルーム）（3） 調光・映写室・設備機械室
3 階	大会議室・中会議室・大研修室 第6研修室・第7研修室第・第4集会室 多目的室	ホール
2 階	小会議室・第1研修室・第2研修室 第3研修室・第1和室・第2和室 生活科学研修室・視聴覚室・授乳室	録音室・モニター室
1 階	第4研修室・第5研修室・文化活動室 印刷コーナー・活動コーナー 図書閲覧コーナー・図書資料室 ボランティアルーム・託児室	第1集会室・第2集会室・第3集会室 情報フロア・活動コーナー
地 階	機械室・電気室・ボイラー室 消火用ポンプ室	

駐車場	立体駐車場	32台
	平面駐車場 （身障者用2台含む）	17台
	合 計	49台

4 開館時間と休館日

（1）開館時間

午前9時～午後9時（日曜・祝休日は午後5時まで）

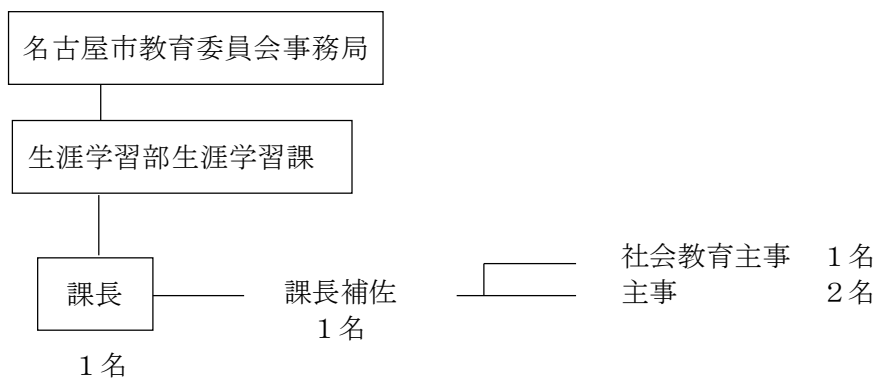
（2）休館日

毎月第3木曜日、年末年始

5 部屋別一覧

区分	女性学習センター			女性情報センター		
	部屋名	定員（人）	面積（㎡）	部屋名	定員（人）	面積（㎡）
3 階	大会議室	4 2	9 7 . 4 0	ホール	3 5 0	3 5 0 . 0 0
	中会議室	2 4	4 9 . 8 0	ステージ	－	1 4 0 . 0 0
	大研修室	1 5 0	1 4 1 . 6 0	ロビー	－	6 1 . 7 5
	第 6 研修室	1 2	3 3 . 6 2			
	第 7 研修室	3 2	7 0 . 2 5			
	第 4 集会室	6 3	9 4 . 4 0			
	多目的室	3 0	7 6 . 4 8			
2 階	小会議室	1 2	2 9 . 8 8	録音室	－	1 8 . 5 2
	第 1 研修室	5 4	7 0 . 8 0			
	第 2 研修室	5 4	7 0 . 8 0			
	第 3 研修室	1 2	2 9 . 8 8			
	第 1 和室	1 8	9 7 . 0 0			
	第 2 和室	1 5				
	生活科学研修室	5 4	8 7 . 0 0			
	視聴覚室	1 2 6	1 4 4 . 6 0			
1 階	第 4 研修室	1 5	3 2 . 0 0	第 1 集会室	3 6	5 1 . 4 1
	第 5 研修室	8	2 1 . 3 9	第 2 集会室	2 2	3 7 . 9 9
	文化活動室	5 0	1 1 7 . 0 0	第 3 集会室	1 2	3 1 . 2 6
	託児室	－	8 6 . 9 6			
	ボランティアルーム	－	2 9 . 9 6			
	図書資料室	－	1 6 3 . 1 8			
	事務室・放送室	－	9 0 . 8 0			

IV 組織及び分掌事務



生涯学習担当分掌事務（女性会館関係）

- （１） 女性会館の事業
- （２） 女性教育の事業
- （３） 女性会館の管理等に関する合理化

（令和8年3月31日現在）

V 予 算

（単位：千円）

事 項		令和8年度	令和7年度	増 減
女性会館運営費		76,295	72,889	3,406
	管 理 費	73,987	70,360	3,627
	学習機会提供事業	414	507	△93
	情報提供相談事業	1,894	2,022	△128

VI 令和8年度事業計画

1 はじめに

令和7年、日本で初めて女性の内閣総理大臣が誕生するなど、女性の社会参画をめぐる状況には新たな動きが見られた。一方、政治や経済をはじめとする意思決定の場への女性の参画は十分とはいえず、固定的な性別役割分担意識など、男女共同参画社会の実現に向けた課題は依然として残されている。

また、少子高齢化や働き方の多様化、地域社会のつながりの変化など、社会環境が大きく変わる中で、誰もが互いの人権を尊重し、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現は、引き続き重要な課題となっている。

令和8年3月には、国において「第6次男女共同参画基本計画」が閣議決定され、本市においても「名古屋市男女平等参画基本計画2030」が策定された。

これまでも名古屋市女性会館（以下「女性会館」という。）は、女性教育を振興する拠点施設として、男女共同参画社会の実現をめざし、女性の生涯にわたる学習を推進してきた。本年度も、国・本市の上記基本計画の内容を踏まえ、女性教育を振興する拠点施設の使命を達成していくものとする。そして、「学習の場」「交流の場」「情報の場」を充実させ、さらなる女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）や男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる事業を展開していく。また、平成26年度より一体的運営を行っている男女平等参画推進センターとの連携を一層進め、実効性のある充実した事業実施に努めていく。

2 事業目標と具体的な事業

※ 破線で囲まれた事業については、指定管理者が進める。

（1）「学習の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる学習、また社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習の機会を提供する。

① 主催講座・講演会の開催

ア 講座の4本柱とその内容

女性の生き方、エンパワーメント

女性の生き方やエンパワーメントにつながる学習、社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習。

現代的課題

人権、環境、国際理解等、女性を取り巻く今日的課題についての理解を深めるとともに、課題解決に向けての実践的な態度を養う学習。

社会参画

施設ボランティアや女性リーダー等、地域社会に積極的に参画する人材を育成する学習。

子育て

家庭教育の充実と支援、「親学」の推進を図る学習。

イ 講座・講演会の開催

系統的・継続的な学習機会として連続講座を開催する。

継続的な参加が困難な学習者や女性会館を利用したことがない学習者等、幅広い市民を対象として、単発で行う講演会等を開催する。

ウ 学習サポート

障がいのある方や子育て中の保護者等、様々な事情・状況にある方への学習支援を行うために、講座資料やチラシ等の点訳や要約筆記、手話通訳、託児付きの事業を実施する。

エ 連携

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、大学、行政機関、女性関連施設、女性会館施設ボランティア等と積極的に連携して事業を展開する。

地域で活躍できるこれからの女性リーダーの育成を目的とした「なごや女性カレッジ」を、8年度は、金城学院大学と連携して開催する。

オ 出前講座

将来を担う若者たちに、男女共同参画や社会的性別（ジェンダー）、デートDV等についての正しい知識や現状について学ぶ機会を提供するために、名古屋市内の高等学校を対象に出前講座を実施する。

② 託児事業

託児事業として、女性会館を利用する学習者、また団体・自主学習グループ活動に参加する学習者を支援する「学習支援託児」を行う。

また、講座・講演会等のすべての主催事業において「講座託児」を行う。

（２）「交流の場」の提供

女性会館で活動している団体・自主学習グループが、主体的に学び、様々な交流ができ、かつ学習の成果を地域社会に還元することができるように支援する。

① 学習成果の還元

ア 「イーブルなごや・フェスティバル」の開催をはじめ、団体・自主学習グループが協力して学習や交流ができ、学習の成果を地域社会に還元できる場を開設する。

イ 団体・自主学習グループによる「自主学習グループ開設講座」に対して支援する。

ウ 「学習グループ登録」の推進や、団体・自主学習グループによる学習の成果還元を支援する。

② 団体・自主学習グループの育成・支援

ア 講座や学習終了後、さらに自主的に学習を深めていこうとする団体・自主学習グループの育成・支援を行う。

イ ボランティア活動やグループ活動の継続・継承・発展を支援するための研修会を開催する。

(3)「情報の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の意識啓発、社会的性別（ジェンダー）の視点を養うことにつながる情報を収集し提供する。

① 学習相談事業

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、女性の課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら情報収集し学習できるよう活動コーナーの学習環境を整えたり、相談を受けたりする。

② 図書資料室の運営

ア 女性のエンパワーメント、男女共同参画、社会的性別（ジェンダー）の視点で、図書・資料を収集する。

イ 図書・資料の展示、貸し出しを行う。

また、図書・資料に関する問い合わせ対応や活用の支援を行う。

ウ 主催事業に関連した、男女共同参画の意識啓発や女性の課題解決に向けたテーマでの図書・資料の企画展示を行う。

エ 講座・講演会等で図書資料室や企画展示のガイダンスを行い、利用促進を図る。

③ 広報の充実

女性会館の事業紹介や学習情報の提供のための広報を積極的に行う。

ア 新聞、地域誌等の広報媒体を活用した積極的な広報を行う。

イ 講座ガイドやチラシを活用した広報を行うとともに、ホームページの充実を図る。

3 施設等の提供

「女性の学習・交流・情報の拠点」として、利用者の視点に立った快適な学習環境の形成のために、施設・設備にかかる良好な条件整備に努め、利用促進を図る。

Ⅶ 令和7年度事業結果

1 主催事業のあらまし

(1)「学習の場」の提供事業

① 講座の開催

- ・主催講座（なごや女性カレッジを含む）16 講座開催。「昭和 100 年！メディアは女性をどう映してきたか ～歴史とこれから～」,「これからも健康であるためのヒントを知る」などを開催した。
- ・施設ボランティア育成事業として「託児ボランティア養成講座」、「難聴者等支援ボランティア養成講座」を前期・後期に開催した。

② 公開講座・講演会等の開催

「珠玉の東京富士美術館コレクションと女性 ～西洋絵画の 400 年～」、「どうなっていく？年収の壁 ～女性の社会進出とのかかわりを考える～」など、女性の現代的課題にかかわるテーマで公開講座・講演会を 12 回開催した。

また、デートDV防止出前講座を 6 回開催した。

③ 「なごや女性カレッジ」の開催

金城学院大学と連携して「自分らしさが導く力に ～ポップカルチャーで学ぶ女性リーダーのかたち～」をテーマに開催した。

④ 連携事業

- ・スポーツ市民局男女平等参画推進課との共催で、特別講演会「社会が育てる『女らしさ・男らしさ』から自由になるためのレッスン」を開催した。
- ・主催講座については、託児の会「たんぽぽ」などの女性学習グループと連携して開催した。

⑤ 託児事業

- ・「講座・講演会託児」61 回、「学習支援託児」24 回などを実施した。

(2)「交流の場」の提供事業

① 学習の成果を還元するための支援

主催講座・講演会における要約筆記、点訳資料の作成、託児付き事業などを実施した。

② グループの育成・支援

「託児ボランティア研修会」などを開催し、施設ボランティアの活動の継承と発展を支援した

(3)「情報の場」の提供事業

① 図書資料室の運営

女性関係専門書の収集、閲覧、貸し出しを行った。

また、講座・講演会に関連した図書を展示・貸し出しする「図書・資料の企画展示」を開催した。

② 広報の充実

名古屋市公式ウェブサイトや「生涯学習 Web ナビなごや」へ最新の情報を掲載した。

また、地域誌、各社新聞などマスコミを通じての情報提供を積極的に行った。

【具体的な事業展開】

1 「学習の場」提供事業

(1) 主催講座

「女性の生き方、エンパワーメント(A)」、「現代的課題(B)」、「社会参画(C)」、「子育て(D)」の4本柱で、年間を前期（5月～9月）・後期（10月～3月）の2期に分け、実施した。

期	時間	曜日	講座名	回数 (回)	募集定員 (人)	応募者 数(人)	学習者 数(人)	託児受入 数 (人)
前期講座	午前	金	<J-1>昭和 100 年！メディアは女性を どう映してきたか～歴史とこれから～ (B)	4	3 0	2 2	2 0	0
		水	<J-2>こころのメール～障がいのある 女性とともに～ (A)	5	2 0	1 0	1 0	1
		火 金	<J-3>【名古屋市立大学連携】これか らも健康であるためのヒントを知る (A)	4	3 1	3 9	3 1	2
		月	<J-4>学びたくなる女性学～お金にま つわる女性の話～ (A)	5	3 0	3 3	2 9	5
		火	<J-5>学ぶ防災～女性の力を生かすと き～ (B)	5	2 0	1 1	1 1	3
		水	<J-6>難聴者等支援ボランティア養成 講座 1 (C)	4	2 0	1 8	1 5	1
		金	<J-7>託児ボランティア養成講座 1 (C)	4	2 0	1 2	1 2	2
		水	<T-4>知っておきたい！思春期の子ど もとの向き合い方 (D)	4	2 4	2 3	2 0	2
前期 計		8 講座		3 5	1 9 5	1 6 8	1 4 8	1 6
後期講座	午前	金	<J-8>託児ボランティア養成講座 2 (C)	4	2 0	1 2	1 0	1
		水	<J-9>難聴者等支援ボランティア養成 講座 2 (C)	4	2 0	1 2	1 0	1
		火	<J-10>文学の中の女性 (A)	4	3 0	2 7	2 6	2
		月	<J-11>今どきの女性の終活！～いつが 考え時？私の未来～ (B)	4	3 6	5 6	3 6	0
		月	<J-12>アナタもワタシも大切にするコ ミュニケーション (A)	4	2 5	3 3	2 5	5
		水	<J-13> [なごや女性カレッジ] 【金城 学院大学連携】自分らしさが導く力に～ ポップカルチャーで学ぶ女性リーダー のかたち～ (A)	5	3 0	1 7	1 5	1
		金	<J-14>国際的な視点で学ぶ、男女共同 参画と社会の未来 (B)	5	3 0	1 0	9	2
		火	<J-15>少しの気づきで変わる未来～ 一人ひとりを大切にできるように～ (B)	5	3 0	1 9	1 3	2
後期 計		8 講座		3 5	2 2 1	1 8 6	1 4 4	1 4
主催講座計		1 6 講座		7 0	4 1 6	3 5 4	2 9 2	3 0
※ 全 70 回中 15 回託児なし						充足率	7 0.2%	

(2) 公開講座・講演会等

事業名	月日	テーマ	講師	学習者数(人)	託児数(人)
「いま」を読み解く	7月7日	<E-3>どうなっていく？年収の壁～女性の社会進出とのかかわりを考える～	社会保険労務士法人 ひいずろうむ 所長 佐藤 文子	66	2
	7月22日	<E-4>災害とジェンダー～過去の災害から学ぶ女性の参画～	岐阜大学環境社会共生体研究センター 准教授 小山 真紀	57	3
	8月1日	<E-5>オリンピック報道と女性	名古屋外国語大学 准教授 後藤 希望	42	2
	9月27日	<E-6>源氏物語の女性たちの生き方	愛知大学 教授 和田 明美	128	2
	10月21日	<E-7>ジャンヌ・ダルクは何者か～社会の向き合い方から、新たな発想を生む～	金城学院大学 准教授 北原 ルミ	79	2
	12月10日	<E-10>海外と日本の月経衛生対処(MHM)を考える～性別にかかわらず活躍できる社会に向けて～	日本福祉大学 教授 小國 和子	14	1
	1月27日	<E-11>「家族のために」は当たり前？～ダブルケアの葛藤～	一般社団法人ダブルケア パートナー 社会福祉士 川崎 裕子	17	2
	3月14日	<E-12>摂食障害を乗り越えて～女性の低体重や栄養不足から学ぶこと～	摂食障害よりみち 代表 鈴木 佳世	78	4
なごや環境 大学共育講座	11月30日	<E-9>地球にやさしく、アップサイクル～未使用布や糸を生かして～	椋山女学園大学 准教授 井澤 幸	32	0
名古屋市美術館 共催 「特別展にみる 女性たち2025」	5月11日	<E-1>珠玉の東京富士美術館コレクションと女性～西洋絵画の400年～	名古屋市美術館 学芸員 近藤 将人	105	2
	11月1日	<E-8>写真から読み解く藤田嗣治の絵画	名古屋市美術館 学芸員 森本 陽香	62	4
特別講演会	6月14日	<E-2>社会が育てる「女らしさ・男らしさ」から自由になるためのレッスン	弁護士 太田 啓子	103	0
		12回		783	24

※ E-3はJ-4の第1回、E-4はJ-5の第1回、E-7はJ-10の第1回、E-11はJ-15の第1回

※ 託児数は実際の託児の人数

(3) 託児事業

事業名	回数・月日	内 容	託児者・講師等	託児延数 (人)
講座託児	5 2 回	1 歳以上就学前までの子の託児	託児の会 「たんぽぽ」	9 5
講演会託児	6 回			1 5
なごや女性 カレッジ	3 回			3
学習支援託児	2 4 回			3 4 0
託児室交流会	5 月 9 日 7 月 2 5 日 1 0 月 3 日 1 月 9 日	託児説明会&託児室で遊ぼう	託児の会 「たんぽぽ」	1 3
	1 2 月 5 日	語ろう会（託児利用者と 託児ボランティアとの交流会）	託児の会 「たんぽぽ」	9
※ 託児定員は 20 人			合 計	4 7 5

2 「交流の場」提供事業

(1) イーブルなごや・フェスティバル2025の開催

テーマ「伝えあい、学びあい、認めあう ～みんなが輝く明日のために～」

事業名	月 日	内 容 等	参加者数 (人)
映画「草間彌生∞INFINITY」 ～女性が国際的に芸術の世界で生きること～	6 月 1 8 日 6 月 2 5 日	講座「珠玉の東京富士美術館コレクションと女性～西洋絵画の 400 年～」(E-1) との連携企画	5 9
特別講演会 「社会が育てる『女らしさ・男らしさ』から自由になるためのレッスン」	6 月 1 4 日	弁護士の太田啓子さんによる、性差別的な価値観や行動パターンを身につけないために何ができるのかについての講演	1 0 3
2 分の 1 B 紙展示	5 月 3 0 日～ 6 月 2 8 日	グループの活動紹介や作品を展示 2 1 グループが参加 5/3 0～6/2 7 館内壁面 6/2 8 ホール	2 0, 7 1 2 ※
舞台発表	6 月 2 9 日	グループによる舞台発表 1 3 グループが発表	4 6 5

※参加者数は、2 分の 1 B 紙展示期間中の中の入館者数

(2) 自主学習グループ主催講座の開設支援

講 座 名	団 体 名	曜日	時間	回数 (回)	定員 (人)	学習者 数(人)
演歌を楽しむ	演歌を楽しむ会	月	午前	5	10	1
おもしろいエニアグラム心理学	女子の心と体	日	午前	4	20	5
～勿体ないを家庭から～編／織／染	つながれっと3R	木	午前	2	6	3
親子で楽しく遊び、仲間と共に、自分らしい子育てを考えませんか	特定非営利活動法人 子育て・子育て支援 NPOたんぽぽ	金	午前	3	15	5
大人世代～シニア世代の「脳力アップ」 ところをリフレッシュして、元気に楽しく過ごそう！	学校臨床「しゃべり場」	月 日	午前	3	25	16
素敵な朗読と楽しい演芸	演芸と朗読会	水	午後	5	10	4
エンジョイコーラス (混声)	いちょうの会	土	午前	3	10	7
初めての手あみ	イーブルなごや3R L	木	午前	2	6	6
					合計	47

(3) 研修会・交流会

事 業 名	月 日	内 容	講 師 等	参加者 (人)
託児ボランティア 研修会	5月8日 6月5日 10月2日 11月6日 2月5日	乳幼児期の子どもの発達 ～遊びと生活、関わりの中 で育つ子どもたち～ 等	愛知県立大学 准教授 瀬野 由衣 ほか	107
難聴者等支援 ボランティア研修会	6月4日 3月4日	ノートテイク実践研修	NPO名古屋難聴者・ 中途失聴者支援協会 代表理事 荒川 清美 ほか	12
点訳ボランティア 研修会	10月27日 3月9日	点字考案300周年に向けて ～レイ・ブライユは「いのち 輝く未来社会」のデザイナー だった！～ 等	国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授 広瀬 浩二郎 ほか	18
子育てグループ交流 会 (子育てグループ 交流会共催)	8月22日 3月5日	仲間と一緒に親子で遊ぼう	株式会社MIYABI 代表取締役社長 柴田 雅美 ほか	20
合 計				157

3 「情報の場」提供事業

(1) 学習相談事業

(単位：件)

学習 機会	施設	団体・ グループ	指導者	資格	教材 (資料)	その他	合計
14	—	13	—	—	27	11	65

(2) 図書資料室の運営

ア 利用者数等

事 項	令和7年度	令和6年度
貸出利用者数	696人	762人
貸出利用冊数	1,515冊	1,645冊
予約・リクエスト件数	23件	21件
新規登録者数	107人	107人

イ 蔵書数

区 分	令和7年度	令和6年度
図書・資料 計	32,032冊	31,895冊
図書 ※1	22,095冊	21,982冊
雑誌 ※2	5,252冊	5,227冊
資料 ※3	4,419冊	4,420冊
VTR、DVD、CD-ROM	266個	266個

※1 参考図書、児童図書含む

※2 「女性展望」、「We Learn」など

※3 全国行政機関発行資料、団体資料、大学紀要、貴重書など

ウ 図書・資料の企画展示実施結果

回数	開 催 期 間	テ ー マ	展示した図書の内容
1	6月1日～ 7月15日	時代をきりひらいた 女性たち	・世界史において活躍した女性たち ・日本史において活躍した女性たち ・時代を変える仕事をしてきた女性たち
2	9月1日～ 10月15日	子育てを応援！	・日本における子育てについて ・子育てと絵本について ・これからの家族と働き方について
3	11月1日～ 12月15日	DVを防ぐために	・DV とは何かについて ・人権について ・ジェンダーと暴力について ・子どもに対する暴力について
4	2月1日～ 3月15日	女性の政治参画	・日本の女性の政治参画の現状と課題 ・日本の政治分野の動向や国際比較 ・諸外国の政治分野における男女共同参画の ための取り組み ・政治分野におけるジェンダー平等について

Ⅷ 令和 7 年度利用状況

1 開館日数 347日

2 利用人数 224,096人 (令和6年度 218,848人)

内訳

(1) 研修室・ホール等利用人数

185,364人 (令和6年度 183,004人)

区 分	性 別			計
	女 性	男 性	不 明	
貸 室 (男女平等)	27,161人	13,783人	4,156人	45,100人
貸 室 (女性教育)	55,771人	11,822人	1,234人	68,827人
貸 室 (その他)	41,031人	26,333人	4,073人	71,437人
計	123,963人	51,938人	9,463人	185,364人

(2) その他の利用人数

38,732人 (令和6年度 35,844人)

室 名	性 別			計
	女 性	男 性	不 明	
託 児 室	1,597人	212人	731人	2,540人
ボランティアルーム	1,494人	255人	—	1,749人
録音室・モニター室	38人	32人	—	70人
その他 (※1)	—	—	34,359人	34,359人
館外利用人数 (※2)	14人	—	—	14人
計	3,143人	499人	35,090人	38,732人

(※1) 貸室以外の館内で行った事業及び、図書資料室・活動コーナー・情報フロアなどの利用者を計上

(※2) 館外利用人数とは、館外で実施した女性会館主催事業の人数

(3) 研修室・ホール等部屋別利用状況

部屋名	利用件数	利用率	利用者数
大会議室	445 ^件	45.7 [%]	8,205 ^人
中会議室	684	70.2	7,158
小会議室	551	56.6	3,160
大研修室	747	76.7	16,780
第1研修室	557	57.2	10,546
第2研修室	468	48.0	8,246
第3研修室	594	61.0	3,167
第4研修室	618	63.4	4,360
第5研修室	645	66.2	2,565
第6研修室	697	71.6	3,932
第7研修室	665	68.3	6,289
第1和室	458	47.0	2,251
第2和室	254	26.1	1,307
生活科学研修室	550	56.5	7,543
視聴覚室	616	63.2	19,542
文化活動室	812	83.4	10,772
第1集会室	632	64.9	7,357
第2集会室	601	61.7	4,967
第3集会室	641	65.8	3,507
第4集会室	661	67.9	13,270
多目的室	841	86.3	7,837
ホール	367	37.7	32,603
合 計	13,104	61.2	185,364
令和6年度合計	13,431	62.6	183,004